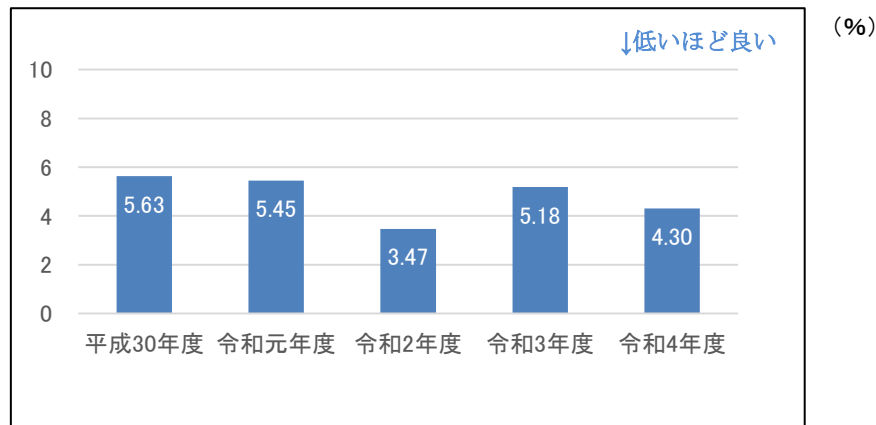


76 債務償還経費占有率

○項目の解説

収益に占める(施設整備)債務償還経費の割合を表す指標です。苦しいと言われる国立大学病院の経営について、特に問題となっている点について具体的に数字を挙げて状況を示し対応や方策を促すための重要な指標になります。

○当院の実績



○当院の自己点検評価

大学病院の設備・施設整備に係る費用は、年々高額化し、借入等をうまく利用して、機器・設備・施設の更新をおこなっていることから、それらの借入等の償還経費が診療報酬請求額の何パーセントを占有しているかは、安定的な経営をしていく上でも重要な指標となると考えられます。

当院では、近年、経営の安定化、74.現金収支率の改善に取り組むことにより、借入等を抑制する対策をおこなったことにより、減少していると考えられます。

今後については、74.現金収支率の安定性を考慮しながら、設備や施設に投資を行うとともに、働き方改革をはじめとする諸課題を解決していくことを念頭に病院運営をおこなって行きたいと考えます。

○定義

当該年度1年間の、債務償還経費占有率です。

○算式

下記のa+b

a: (施設整備債務償還経費(PFI活用も含む) ÷ 診療報酬請求金額) × 100

b: (設備整備債務償還経費(PFI活用も含む) ÷ 診療報酬請求金額) × 100